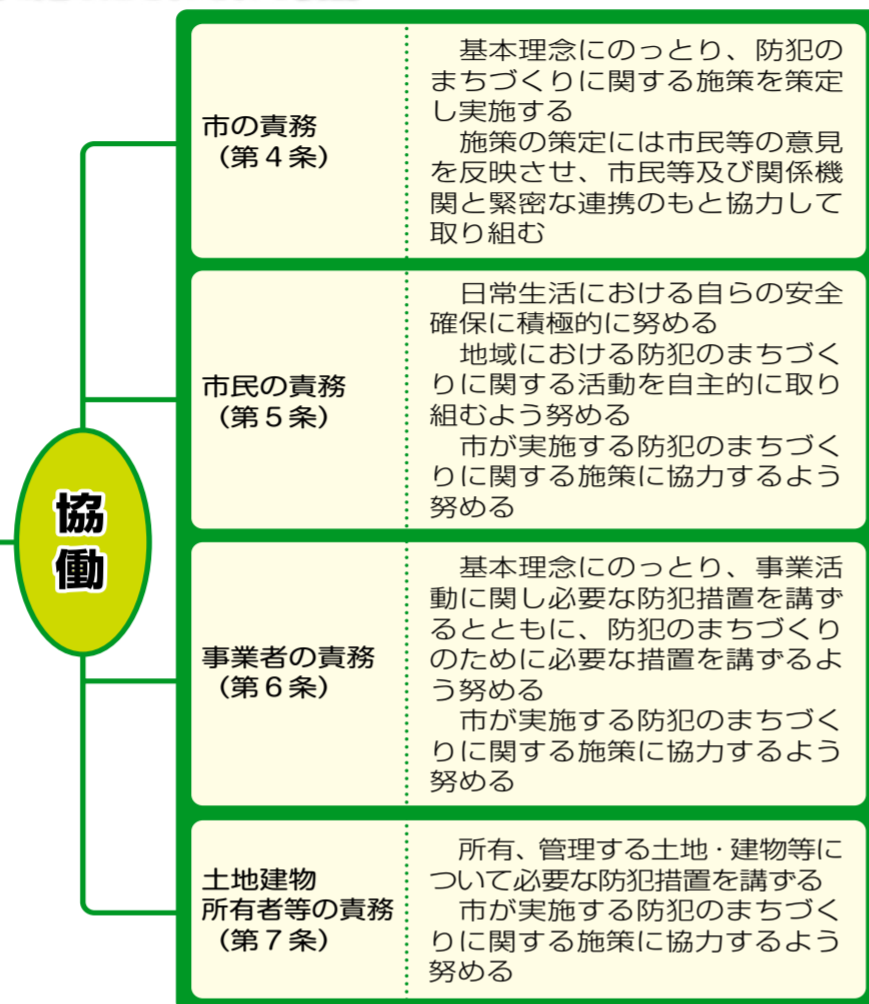




安全で安心な 地域社会をめざして

■条例で定めたそれぞれの役割

安全・安心な防犯のまちづくり



防犯のまちづくりで安全安心な所沢に

所沢市長 当麻よし子



市民の皆様には、日ごろから活発な自主防犯パトロール活動をはじめとする、防犯のまちづくりの推進にご尽力をいただき、深く感謝申し上げます。

市内では、振り込め詐欺や、子どもを対象とする声かけ、自転車の盗難や車上狙いなど、身近なところで発生する犯罪が依然として後を絶たない状況です。

市民意識調査においても「防犯」の関心度は高く、ここ数年第2位となっています。

市では、さまざまな犯罪から市民を守り、皆様が安心して暮らすことができる地域社会の実現をめざし、「所沢市防犯のまちづくり推進条例」を制定いたしました。

また、近年、空き家の適正管理がなされていないことについての相談が多くなってきており、「所沢市空き家等の適正管理に関する条例」も制定し、10月1日に施行いたします。

今後は、さらに市と市民の皆様、土地建物所有者の方や事業者、関係機関の方々と力を合わせ、連携した防犯の取り組みを推進することにより、犯罪を起ささない地域環境づくりをすすめてまいりますので、引き続き、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

メール配信で情報提供中



犯罪の発生状況や犯罪被害の防止方法等の情報を、メール配信サービスを通じて市民にお知らせします。

携帯電話からの登録は、
<https://www.e-machinavi.jp/city.tokorozawa.m/regist.aspx>
を直接入力するか、右QRコードを読み取り、手続きを行ってください。



- ◆ **振り込め詐欺にご注意**
息子や孫を名乗る「携帯電話の番号が変わった」という電話は、振り込め詐欺の口です。十分にご注意ください。
- ◆ **子どもを犯罪から守るために**
1人で下校しているとき、路上で不審者に声をかけられる被害が発生しています。
- ◆ **自転車の盗難を防ぐには**
市内の犯罪で一番多いのが自転車盗難です。
- ◆ **空き巣狙いに遭わないために**
ガラス破りによる被害が発生しています。
- ◆ **短時間の留守でも必ず戸締りをする**
補助錠を使い防犯性を高めましょう。

「所沢市空き家等の適正管理に関する条例」10月施行

目的 空き家等が放置され、管理が不十分な状態になることにより、犯罪や放火を誘発するのではないかと近隣住民の不安があり、所有者等に適正な維持管理を求め、生活環境の保全と防犯のまちづくりの推進に寄与することを目的としています。

現状 平成21年度の消防本部で調査したところ、市内には空き家が343件あり、そのほかにも危機管理課で把握しているものが21件あります。原因としては、所有者が高齢になったことや、遠隔地への居住、経済的事情等により管理できないなどにより、利用者がいないまま放置されていることが考えられます。

条例の内容の詳細は、市「防犯・防災」から「防犯」をクリックでご覧いただけます。

この家は空き家になっていたところを、所有者の方のご厚意で、地域の高齢者の憩いの場として絵手紙教室や昼食会などで活用されています。

草が生い茂っていた庭には、トマトやナスが実り、絵手紙のモデルになったり昼食会の新鮮なおかずになったりしています。

適正管理のポイント

- ①日ごろからの近隣のおつきあい
- ②空き家にするときは連絡先を近隣に伝える
- ③雑草の除去等、定期的に管理を行う

「空き家の活用例」

この家は空き家になっていたところを、所有者の方のご厚意で、地域の高齢者の憩いの場として絵手紙教室や昼食会などで活用されています。

市民インタビュー

防犯協会の活動を通して

所沢市防犯協会 副会長 吉田 勉さん

市内には防犯協会の支部が11あり、防犯パトロールはもちろん、地域で起きている犯罪に対する防犯対策の広報や、子どもたちや地域住民もまじえた防犯大会等、地域の特性にあわせて活動を展開しています。

「所沢市防犯のまちづくり推進条例」が制定されましたので、活動のよりどころとして、今後、市や警察等とよりいっそう連携を図りながら地域安全活動を進めてまいりたいと思います。



警察署長と意見交換



市内では、約900人の地域防犯推進委員で構成される「所沢市防犯協会」による地域安全パトロールや街頭キャンペーンなどの活動、ボランティアの自主防犯団体による子どもたちの登下校の見守り活動などが活発に展開されています。

「防犯」は第2位
市民意識調査の結果でも、「防犯」に関する関心度は常に高く、市の施策の中で重要であり、更なる充実を図るべき施策でも第2位でした。

防犯パトロールへの参加協力率
参加・協力している：12・3%
参加・協力したい：10%
参加は難しいが何らかの協力はしたい：54・9%
多くの市民の皆さんが、防犯活動に協力したいという気持ちをお持ちです。



児童館での防犯教室の様子

自主防犯団体の支援
市では、防犯ベストや帽子などのパトロール用品貸与、自主防犯リーダー養成講座等により、地域住民やボランティアによる自主防犯活動を支援します。

子どもの安全の確保
防犯知識を学べるグッズの配布や、児童館等での防犯教室を実施するなど、防犯意識の醸成に努め、下校時等の見守りパトロールを推進します。

防犯のまちづくりはできることから

ふれあい防犯パトロール隊(久米中町)

活動を始めて5年目現在58人で活動中。学校やPTAと連携しながら、毎月パトロール計画を作り、登下校時、夜間のパトロール、不審者情報等の連絡徹底などを行っています。

年2回メンバー募集を行い、健康管理をかねて徒歩パトロールする人、下校時に家の前で子どもたちを見守る人、仕事から帰って夜間パトロールをする人と、できる人ができることをやっています。

子どもたちとあいさつを交わすことで心を通わせ、その子どもたちが大人になって地域の安全を担っていただければと願っています。



かけこみ110番の家を知るためのスタンプラリーの様子

自主防犯団体は現在203団体!

市内では、自治会・町内会をはじめとする、登下校の見守り活動等をボランティアで自主的に行っている団体が、203団体(8月1日現在)あります。

犯罪を防ぐためには、各個人のちょっとした心がけと、地域での自主防犯活動が重要と考えています。



ワンワンパトロール

愛犬の散歩をかねて、「ワンワンパトロール」をしている団体もあります。



地域の見守る目が増えることで、犯罪防止と地域住民の防犯意識の高まりが期待できます。

「所沢市防犯のまちづくり推進条例」が制定されました